



情報交流ひろば

ふらっと



藤井寺市役所
1階ロビー

ピンフレットスタンド

憩いの空間



ちょっと立ち寄っておしゃべりしたり、
ミーティングなどいかが？



市政情報をはじめとするチラシ等を
カテゴリ別に置いています。

「ふらっと」に、ふらっと立ち寄って

人と人をつなぐ市民活動マガジン

HITOTSUNAGI

ひとつなぎ

Vol. 5

市民活動やボランティアを
はじめたい人・している人
必見！

- P.1 はじめての市民活動
- P.2 活動をシルミル(市民活動団体紹介コーナー)
- P.9 対談～小山地区×はぐくみ食堂～
- P.13 まち活インタビュー
- P.14 自治会も市民活動！

はじめての 市民活動

“市民活動”という言葉を知ったことはありますか？ “まち”のことを良くしようとする市民主体の活動を“市民活動”と呼びます。この冊子「HITOTSUNAGI ～ひとつなぎ～」はこれから市民活動を始めるひと、すでに活動しているけど、もっと発展させたいひとの気づきとなるような情報を掲載しています。あなたも“ひと”と“ひと”がつながる“市民活動”を通して、“まち”を素敵なものにしていきませんか？

？ 市民活動とボランティア活動って違うの？

市民活動は組織的・継続的に社会的課題の解決に取り組む活動です

ボランティア活動は個人が行う、単発的な活動を含むのに対して、市民活動は高齢者の問題、子育ての問題、環境の問題など社会的な課題に対して継続的に取り組む活動のことを指します。ただし、ボランティア活動も市民活動の運営に欠かせない大切な存在です。

？ 新しく活動を始めたいけど、何から始めればいいのか？

まずは、団体紹介コーナーをご覧ください。

市内で活動する市民活動団体を紹介しています。気になる活動があればお気軽に連絡してみてください。あなたの一歩で活動が広がり、社会を変える大きな力になるかもしれません。

？ すでに活動をしているけど、悩み事があります。是非、市民活動相談会で相談してみてください！

後継者不足や資金調達方法、広報、事業計画、その他些細な内容でも構いません。まずはお気軽に相談してください。また、社会貢献活動をしたい民間事業者の方も大歓迎です。市や団体との協働事業をすることで今後の活動のヒントを得られるかもしれません。

市民活動に関する疑問やお悩みなど、お気軽に利用してください！

市民活動相談会

対面・メール
相談可

経験豊富な専門のスタッフが相談をお受けします。対面は月1回、メールなら随時相談を受け付けています。

これから活動を始めたい！

助成金の情報がほしい



詳細は市HPをご覧ください

もっと活動をPRしたい

活動の幅を広げたい！

シルミルいんぷお

市役所
1階ロビー

本書「市民活動団体紹介コーナー」に掲載している団体のPRチラシやイベントチラシを設置しています。きっと素敵な活動が見つかりますよ！



活動を



市民活動団体紹介コーナー

藤井寺には、地域美化活動や子育て支援活動など、藤井寺を元気にする市民活動団体がたくさん！

「どんな活動をしている団体があるの？」

「どんな人が活動をしているのかな？」

「私も活動に参加してみたいな！」

そんなあなたにお届けするコーナーです！

※新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載内容は変更される場合があります。



手話サークルふじいでら

手話を学びながら、聴覚障がい者との交流を深めています。関係する施設での見学やボランティア活動も行っています。2019年に手話言語条例が施行される中、藤井寺市でも広く市民の方々に手話を知ってもらえるよう活動しています。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1・3・4水曜日 19時～21時
※第2週は10時～12時
第4週は13時30分～15時30分も活動
問合せ先 永山 072(953)6373



さといもの会 (子育て応援楽しみ隊)

0～4才までのお子さんを持つママを応援しようと「さといもさろん」と「さといも文庫」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべうた遊び、絵本の貸出、お散歩やお昼ご飯を食べたり。スタッフは、子守りとおはなしが大好きなメンバーや元保育士・看護師・栄養士。お気軽にお越しください。

活動場所 専念寺 (津堂 2-4-3)
活動日時 さといも文庫 第1木曜日 10時～11時30分
さといもOB文庫 第1土曜日 14時～15時30分
さといもさろん 第3木曜日 10時～12時30分
問合せ先 細木 090(9116)4093



NICE! 藤井寺バンド

“認知症になってもいきいき暮らせるまち” “笑顔あふれるまち”を目指し、老人ホームや市役所前広場などでライブを行っています。「NICE! 藤井寺バンド」の“バンド”は人と人をつなぐという意味。音楽を通して地域住民の親睦を図り、人と人をつなげることを目標に活動しています。

活動場所 ふれあいプラザ・松水苑・自治会など
活動日時 随時 (火曜日・木曜日は練習日)
問合せ先 二井 090(6600)2108





自助具の会 なでしこ

生活に不自由を感じている高齢者や障がい者が、少しでもスムーズに生活を送れるようにと、自助具や介助具を作っています。ほかに、体が不自由になって着られなくなった服のリフォームも行っています。和気あいあいとした雰囲気です。

活動場所 福祉会館
活動日時 第2・4金曜日 10時～16時
問合せ先 糀谷 072(953)3526



藤井寺市朗読の会 ひびき

目の不自由な方など、活字での読書が困難な方に、毎月「声の広報ふじいでら」「声の雑誌ひびき」など、対面朗読や音訳CD・デージー図書の作製を行っています。リスナーさんの「毎月、楽しみにしていますよ」の声を励みに、朗読の勉強に力をいれています。

活動場所 図書館・福祉会館・アイセル シュラ ホール
活動日時 不定期
問合せ先 図書館 072(938)2197



ほっとタイム - 親の会 in 藤井寺 -

学校に行かない・行けないといった子どもをもつ親同士の集まりです。気兼ねなく話せて、少しでもホッとできる交流の場として会を開いています。子どもの年齢は小学生から30歳代くらい。学校や社会との付き合い方や暮らし方も様々です。同じ立場の人同士話し合ってみませんか。

活動場所 パープルホール
活動日時 第1月曜日 10時～13時
(祝日の場合も第1月曜日)
問合せ先 里中 080(3132)2845



ふじいでらブロカント

「長く愛されてきた、古き良きモノ達との出会い」をコンセプトに、食器・物入れなどの古道具や、人形などのアンティークを中心とした市を開催しています。市民の方や他市から来られた方に「藤井寺市にも、こんな魅力的な骨董市(ブロカント)があるんだ!」と楽しんで頂きたいです。

活動場所 市役所前ふれあい広場
活動日時 年3回
問合せ先 西山 090(7768)5492



イベントサークルクローバー

大好きな地元で、色んな人が交流して楽しめる場所を作りたい。そんな思いで、「クローバー手作り市」を開催しています。他にも、「パープル&社協フェスタ」、「よさこいインふじいでら」との合同企画も開催。楽しい事が大好き!という方、ぜひ一緒に活動しましょう!

活動場所 パープルホール・LIC はびきの
活動日時 年3回程度
問合せ先 中辻 090(9988)0766



藤井寺市食生活改善推進協議会

栄養バランスのとれた食生活から健康づくりを広め、介護予防につなげたいとの思いで活動しています。夏休みには親子クッキングを行い、乳幼児健診では、手づくりおやつを提供し、食に関する正しい情報と手づくりの大切さを伝えています。

活動場所 保健センターなど
活動日時 不定期
問合せ先 健康課 072(939)1112



クリーンボランティア一粒会

駅周辺の清掃を通じて、地域社会のモラルとマナーの向上を目指しています。たばこの吸い殻や空き缶など、ゴミが少なくなったことを実感できると、気持ちもスッキリ! 藤井寺をきれいなまちにしましょう。

活動場所 藤井寺駅周辺
活動日時 第3日曜日 9～10時
問合せ先 松山 072(955)1268



地域活動栄養士会オリーブ

近頃、朝食を食べない人の増加や伝統的な食文化が失われつつあるなど、食に対する意識が希薄になりがちです。私たちは食育や高齢者栄養などの勉強を行い、地域の皆様の健康づくりに関わっています。料理教室や食育講座の依頼もお受けしています。

活動場所 藤井寺保健所など
活動日時 第2月曜日(定例会)
問合せ先 藤井寺保健所企画調整課栄養士 072(955)4181



よさこいサークル不知火組

健康促進・認知症予防のために、楽しくよさこいをしています。体育館で練習して、市内や近畿圏内のよさこいイベントに参加しています。色々な年代の方が楽しめるようなよさこいを目指しています。初心者の方でも大歓迎ですので、お気軽にお越しください！

活動場所 市民総合体育館
活動日時 土曜日 19～21時
問合せ先 竹崎 090(1919)3813



藤井寺市母子寡婦福祉会

藤井寺市内の母子家庭や寡婦の方で、情報共有・仲間づくり・母子福祉の向上を目的に活動しています。同じ立場を経験してきた仲間だからこそ、理解し合えることがたくさんあります。孤立しがちなお母さんを支え、生活の向上を図る活動をしてみませんか？

活動場所 福祉会館
活動日時 第1・3火曜日 9～17時
問合せ先 福森 072(973)2652



ふじいでら手づくり市実行委員会

葛井寺・辛國神社を中心に藤井寺に面白いイベントを増やして、まちを活性化させたいとの思いから、手づくり市を開催しています。木工、雑貨、焼き菓子など種類は様々！手づくりでこんなものができるんだと感動します。ぜひ、一緒に楽しい手づくり市を作りましょう！

活動場所 葛井寺・辛國神社・ブクンダ公園
活動日時 年3回
問合せ先 西山 072(937)1997



子育て支援グループアイセル

「地域で子育て」をモットーに、子育て中のママの仲間づくりをサポートしたいとおしゃべりサロンを開いています。核家族化が進み、子育てのちょっとした悩みを気軽に相談できる相手が減ってきています。ぜひ、「子育てママのおしゃべりサロン」に参加して、同じ境遇の仲間を作りませんか。

活動場所 アイセル シュラ ホール
活動日時 第3水曜日 10時30分～11時30分
問合せ先 松島 090(3673)8721



NICE! 藤井寺・松水苑健康デカ麻雀クラブ

手づくりの大きな木製の麻雀牌を使って、和気あいあいと健康麻雀を楽しんでいます。高齢者の引きこもりや認知症を予防し、健全な老後を過ごすことを目指して活動しています。

活動場所 松水苑
活動日時 第2金曜日、第1・3土曜日 10～15時
第2火曜日 12時30分～15時
問合せ先 下里 072(953)7502



ほっとスペース

藤井寺市を中心として、ご希望の方に無料で心理カウンセリングを行っています。カウンセリングは特別なことではありません。安心して日々を過ごせるように、共に考えましょう。「話すは癒す」お気軽にお問い合わせください。

活動場所 藤井寺市内他
活動日時 随時 QRコード参照
問合せ先 @hotto8010@gmail.com (松本)



お手玉サークル遊

最近、加齢による虚弱（フレイル）対策が話題になっています。昔ながらのお手玉や、ゴムつきのヨーヨーお手玉を使った体操は前頭前野に良いです。笑いながら全身体操をすることで集中力がつき、健康寿命を延ばす効果があります。老若男女、年齢を問いません。一緒に楽しみましょう。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1水曜日 13時30分～
第4火曜日 10～15時
問合せ先 吉留 072(939)0799



傾聴ボランティアやまびこ

傾聴ボランティアとして、社会福祉協議会での認知症の方の集まりに参加したり、地域の老人施設を訪問して、利用者の方の様々な思いや言葉に耳を傾けています。その方のお話を聴き、穏やかな表情を見ることができると、少しは気持ちに寄り添えたかなと嬉しくなります。

活動場所 老人福祉施設など
活動日時 月7回程度
問合せ先 林 マスミ 090(7552)1906



おはなしころりん

昔話を覚えて、子ども達に語っています。おはなしの楽しさを伝えるために図書館・幼稚園・保育園・小学校などで、おはなし会を開いています。子ども達がおはなしを聞きながら目をキラキラさせているのを見ると、心が安らぎます。

活動場所 図書館・アイセル シュラ ホール
活動日時 図書館 (第2・4土曜日)
アイセル シュラ ホール (第3土曜日)
問合せ先 図書館 072(938)2197



グループみらい

男女共同参画に取り組んでいます。ミーティングでの話し合いの中で、日々の生活には男女特有の問題があることに気づかされます。その気づきを自分らしく生きるヒントにつなげられるよう活動しています。また、ミーティングで出たアイデアを生かして講座の企画・運営を行っています。

活動場所 男女共同参画ルーム
(パープルホール3階)
活動日時 月2～3回程度 ※定例会は第2水曜日
問合せ先 難波 072(955)2746 (FAXのみ)



はぐくみ食堂

市民目線に立った活動で地域で子どもを見守り、食を通して一人暮らしの高齢者も参加しやすい居場所づくりをしています。少子高齢化、核家族、地域社会にあって孤立しやすい人の灯となってほしいです。ぜひお越しください！

活動場所 杜の灯珈琲・小山会館
活動日時 月1回程度
問合せ先 下井 090(4829)5096



春日丘いぬ・ねこ会

春日丘地区を中心に TNR 先行型地域猫活動 (野良猫に不妊手術を行い、元の場所に返す) や、保護された猫や犬に“ずっとのおうち”を見つける活動を行っています。その他にも、獣医さんによる勉強会なども実施中！活動に興味のある方のご連絡をお待ちしています。

活動場所 春日丘地域
活動日時 ホームページにて掲載
<https://kasugaokainuneko.amebaownd.com/>
問合せ先 @nanakouchans@yahoo.co.jp



藤井寺市青少年リーダー協議会

地域でのお楽しみ会やクリスマス会、キャンプなどの行事に出向き、リーダーとして必要な知識、豊かな心を育むことを目的として活動しています。行事では参加者と一緒に楽しみ、その嬉しそうな笑顔を間近に見られることで、とてもやりがいを感じることができます。

活動場所 アイセル シュラ ホール、各小学校など
活動日時 不定期
問合せ先 生涯学習課 072(952)7800



点訳サークル藤井寺六星会

視覚障がい者の方々のために、広報ふじいでらの点字版をはじめとした様々な本の点訳や、視覚障がい者の会 (たんぼぼの会) との交流会を行っています。目の見えない人と見える人が一緒に絵本を楽しめるように、透明なシートに文章を1点1点コツコツと手打ちしています。

活動場所 福祉会館
活動日時 火曜日 10～17時
金曜日 13～17時
問合せ先 社会福祉協議会 072(938)8220



笑わスペース

藤井寺駅近くの古民家で、月1回こども食堂「笑わ食堂」を開催しています。誰もが楽しく参加し、人と人がつながり笑顔になれる場所に！を目指しています。『ゆったり、まったり、ほっこり』の笑わスペースに皆さん遊びに来てください！

活動場所 岡 2-3-17
活動日時 月1回程度
問合せ先 木下 090(8521)0762



サンフラワー ～子育てに難しさを感じる親のための会～

子どもの発達に悩む親の仲間づくりや情報交換の場として、おしゃべり会「ピアマムズ」を開催しています。専門家や療法士、ペアレントトレーナーなどのゲストをお招きするスペシャル会も年に数回開催しています。子育てで悩んだら抱え込まずにおはなしに来てくださいね。

活動場所 福祉会館・松原市はーとビュー
活動日時 月1回程度
問合せ先 LINE ID: @ewl1275d
@sunflower0852525@gmail.com



満足に食事を食べられない・1人ぼっちのごはんになっている子ども。その支援として行いうわゆる「こども食堂」と「はぐくみ食堂」は少し異なる取組。「年齢関係なく色々な人が気軽に立ち寄れる温かい場所」「はぐくみ食堂」はそんな場所を育てていきます。

「食と居場所づくり」を通じた協働の取組

小山地区



はぐくみ食堂

小山地区 区長：今澤實雄さん（左）・山本 謙さん（右）
はぐくみ食堂 代表者：下井由美子さん（中央左）、東口有紀さん（中央右）

「はぐくみ食堂」と「小山地区自治会」
「はぐくみ食堂」は代表者の下井さんと東口さんを中心に立ち上げられた、いわゆる「地域食堂」です。現在は、小山地区自治会が管理している「小山会館」と辛國神社近くの喫茶店「杜の灯珈琲」で定期的に開催されています。

「はぐくみ食堂」の活動を始められたきっかけを教えてください

下井：元々、はぐくみ食堂のメンバーは子育て中のママや赤ちゃんを対象に「親子ヨガ」や「アロマ」などの活動をしていました。活動の中で、特定の人だけでなく誰もが参加できる場所づくりはできないかと考えるようになり、「こども食堂」なら相手に寄り添いやすい居場所づくりにもなると思いました。「孤独な人をなくしたい」というところからスタートしました。「地域で子どもを見守る」「地域で高齢の方を見守る」これがはぐくみあえる地域に繋がると、素敵だと思っています。

東口：このような取組は前例がなくて、最初はどこに相談していいかわかりませんでした。縁があって小山地区さんが地区会館の使用を了承してくださったことは本当にありがたかったし、色々な気づきがありました。最近、ご近所や隣人の顔を知らないという人もいますよね。地域の方以外にも口コミで他の地域からも来ていただいています。こういう場を通じて人と人のつながりができていくことで、安全・安心で愛着を持てるまちを作ることに繋がっていくのかなと思います。

今澤：小山地区としても、会館や地区に来ていただくことによって、「小山っていいとこやな・住みやすそうやな・家を買うなら小山にしようかな」と感じてもらうところから、自治会の加入者が増えるのではと思います。

下井：この地域にはこんな人たちがいるんだということが見えますもんね。

地域に根差した小山地区と居場所づくりをしたい「はぐくみ食堂」のニーズがマッチしたということですね

山本：実は、以前から小山地区の中でも「こども食堂」をやったらどうかという声があがっていました。ただ、「こども食堂」は食事を食べられない子どもに対して取り組むものというイメージや、子どもしか対象にならないというイメージがあって、地区でやっても参加者が集まりにくいのではと思っていました。

今澤：僕の場合は、「こども食堂」にそういうイメージはなくて、逆に「はぐくみ食堂」とだけ聞くと、どういう取組なのかイメージしにくいこともありますね。

東口：確かに「こども食堂」も「はぐくみ食堂」も

人によってイメージが異なりますよね。最近、皆が気軽に来られる場所というイメージをつけるために、「地域食堂」という表現も使うなど工夫もしています。

下井：小山会館では赤ちゃん連れのお母さんや子どもの参加が多いので、会館の2階で子どもたちが遊ぶ時間を設けています。参加されているお母さんに聞くと、お父さんの帰りが遅く赤ちゃんと2人の時間が長くなる時もあり、「はぐくみ食堂」ならママ友達が集まって一緒に晩ご飯を食べて帰れるので助かりますと話されていました。赤ちゃんが泣いてどうしても晩ご飯を作れないような日もあると思うので、そんなとき利用していただけたらいいなと思うんです。そういうのを見ていると「こども食堂」というより、「地域食堂」の方がいいかなとも思っています。

東口：小山地区さんには場所の提供以外にも、閲覧板での周知や農家の方々による食材の提供などしていただいています。地域の皆さんの手助けに感謝しています。

今澤：私は農家なんですけど、「はぐくみ食堂」のニーズに合わせた野菜を多めに作るようになりました。農家の私としては、ぜひ地元で作った地場産や露地ものの野菜を食べてもらいたいです。ハウス産とは味が違うし、食育にもなる。トマト1つでも、露地栽培の食材はそのシーズンのものしか作れないんですよ。食育以外にも「はぐくみ食堂」によって地区の色んな広がりが出てきていると思っています。開催日は山本さんは小山会館の中で作業を手伝って、僕は小山会館前の道は交通量も多いので見守りをしています。こういう活動に参加していると、子どもたちやその親とも顔見知りになって、声かけが出来るんです。この活動を通じて地域の人との広がりが出来ましたね。自治会加入促進にもなってほしいと思います。

「はぐくみ食堂」で活動していて良かったと思うことはありますか？

下井：ボランティアスタッフさんが参加するのを楽しみにしてくださっていることですね。同じように子育てをしながら、ボランティアとして参加してくれている方もいて、「うちの子こんなやねん」、「うちも一緒にやわ〜」と一緒に野菜を切りながら何気ない話をするだけでも、気持ちの切り替えになっているのかなと思います。



東口：普段、家ではきのこを食べない子どもが、ここではきのこ入りのカレーを食べたと言ってくれる。「はぐくみ食堂」での経験が子どもたちにとって良い刺激になっているのだと感じられて、成長が見えてとても嬉しく思います。

今澤：子どもたちに藤井寺昔ばなしなどの読み聞かせをしたいですね。楽しめたら人は自然と集まってくると思う。

下井：そうですね。ご飯と一緒に食べるだけでなく楽しめる場所にしていきたいと思っています。例えば、去年は市内で読み聞かせの活動をされている「おはなしころりん」さんに来ていただきました。他にも地域ボランティアの方の協力のもと、大学生ボランティアの皆さんや市の職員の方と一緒に影絵を作りました。子どもたちも楽しめたし、参加者の距離もどんどん縮まっていることが実感でき、すごく良かったと思います。

東口：おばけの話をしてもらったときは子どもたちの集中力がすごかったですね。こういう他の団体さんとのコラボもいいですね。協働することで出来る事が増えるし、いろんな世代の方が楽しめてふれあえる場を作っていければと思います。

今澤：「はぐくみ食堂」で50～60人分のカレーを作っているじゃないですか。これくらいの材料があればこれくらいの人数分になるということが自然と体に染み込んでいるので、例えば災害時に地区会館を

拠点に炊き出しをするような時も経験を活かしてスムーズに動くことができる。「はぐくみ食堂」での活動がそのまま、実は災害時の炊き出しに繋がっているんです。

コロナ禍で「自治会」や「はぐくみ食堂」の活動に変化はありましたか？

今澤：やはり、地区の方とのコミュニケーションが取りづらくなったと思います。毎月の自治会の会議も開催できず、役員同士の連携も取りづらくなりました。福祉委員が主となって、毎年恒例で行っている1人暮らしの高齢者を対象とした食事会や、その中で幼稚園児のお遊戯会などの催しも、感染防止のため実施が非常に困難になりました。そんな中でも、見守りも兼ねて年末に福祉委員と一緒にご自宅を訪問し、シクラメンの花をお届けしました。コロナ禍でも地域の交流を絶やさず、なんとか人と人の暖かい繋がりを作っていきたいなと思います。

下井：はぐくみ食堂もこの状況下では開催が難しいので、その代わりにお弁当を作って小山会館で配布することにしました。さらに少し工夫して、親子ボランティアを募集して高齢の方にお弁当をお届けしていこうと考えています。小さい子どもが家まで届けてくれると喜んでくださるんですね。コロナ禍で家にいることが多いけれど、これをきっかけに元気を出してもらえればと思っています。

今後どのような取り組みをしていきたいですか？

東口：今回の小山地区さんのように、自治会と連携



すると活動の輪が広がるということを本当に実感しました。市内で活動場所を見つけることはなかなか難しいですが、これをきっかけとして、他の自治会とも協働できればと思います。

下井：私たちだけでなく、同じように自治会と協働したいと思っている団体や人はたくさんいるような気がします。様々な活動が各地区で広がれば、自然といろんな年代の人たちが地域の地区会館に集まるようになると思います。

山本：自治会としても、役員の高齢化や担い手不足という課題はあります。若い人にもこんな活動を通じて、小山って住みやすそうで良い地区だなって思ってもらえると嬉しいし、それをきっかけに自治会にも入ってもらえたらいいなと思います。自治会も単独では限界にきているから、色々な団体と協働していく事も必要かもしれませんね。

今澤：それと、地区ならではのものも作っていききたいですね。藤井寺の歴史や地区の歴史を学んだり、この地区では子どもの時にこんな行事やるねんという感じで。そうすると、地区に愛着が湧いて、1回地元を離れても関わってくれたり、戻ってきてくれたり。地元は良いところやでって友達にも言ってくると嬉しいなあ。

※小山地区自治会…自治会は約600世帯が加入。福祉・民生・防犯・交通委員などの活動に取組み、産土神社の氏子会や地域の祭りなどの行事にも参加している。

※はぐくみ食堂…地域で子どもや高齢者の食を通じた居場所づくりをめざす活動を行う。活動は月1回程度、杜の灯珈琲と小山会館で実施。（詳しくは8ページで紹介）

～藤井寺市を「子育てしやすいまち」に！～

藤井寺子ども子育て連絡会

「藤井寺子ども子育て連絡会」を立ち上げたきっかけは？

夫婦で運営している民間学童の子ども達が「お店」をやりたいと言い出したことだと思います。いつも通り2つ返事で始めたのが「子ども“やる気”食堂」でした。子ども達が調理・店員をして保護者や周りの友達を招待するものです。これが世に言う「子ども食堂」というものを意識する、また食材の調達などのノウハウを得る機会になりました。

「子ども“やる気”食堂」始めて1年が過ぎた頃に、はぐくみ食堂さんから、続いて笑わ食堂さんから、子ども食堂を始めたいという相談を受け協力させて頂きました。これまで、地元楽しいことが増えたら良いなと、クローバー手作り市など色々なイベントをしてきたのですが、当日は楽しいものの、ちょっと違う。毎日を楽しみたい。という想いを持っていたのですが、「ああ、自分がやるより人の手伝いの方が楽しい事の数増えるんじゃないか？」という事に気づきました。そこで、藤井寺市社会福祉協議会の職員さんにも手伝っていただきながら、有志の方たちと「藤井寺子ども子育て連絡会」を立ち上げました。

どのような活動をされていますか？

今年子ども食堂などの子育て関連事業への協力や、交流会の実施、子育て世代のご家庭への情報発信…の予定でしたがコロナの影響であまり活動が出来ませんでした。しかし予定外の活動もありました。小学校の長期休校時は、飲食店さんの協力のもとお弁当の配布をしたり、企業からの支援品を藤井寺市内の公民すべての学童保育に配布したり、マスクを作ったり、色々やりました。

子育て関連事業や子育てサークルへの食材の配布、助成金の申請協力、情報発信は今後も引き続き継続していきますが、今回のコロナのように、有事の際にも柔軟に動けたら良いなと思っています。



▲代表の中辻宏喜さん

今後の会の目標を教えてください

こんな活動をしたい！という想いがある人たちへの協力が出来たら良いなと思っています。例えば、子ども食堂を始めたいという方がいたら、食材の提供、場所の紹介、調理器具の貸し出しなどは協力出来る可能性があります。出来る事は少ないですが、提供できるものの発信や悩み事の情報共有なども含めて、子育てサークルや事業を行っている・始めたい人たちを応援出来る会にしていきたいです。

今は、ホームページの作成を行っているところです。まだ情報量は少ないですが、子育て世代のご家庭に有益なものにしていきたいです。



▲子ども子育て連絡会が運営するホームページ「キラリ☆ねっと」
HP <https://fujikko.org/>



▲子育てに関する情報をLINEを使い定期的に発信しています。

自治会も市民活動！

「自治会」というと、よく知っているようで、本当のところどんな活動をしているか知らない方も多いのではないのでしょうか？
ここでは自治会活動の実は！をご紹介します。
実は、自治会って皆さんの日々の暮らしに密着した活動なんです。



防犯カメラを普及・管理しているのは **じつ 実は！**

防犯カメラを普及しているのは、市や警察だと思いませんか？
実は、自治会が地域の安心・安全のために取り組んでいます。防犯カメラがあることで、犯罪抑止につながっています。



防犯カメラの普及・管理

子どもが安全に通学できるのは **じつ 実は！**

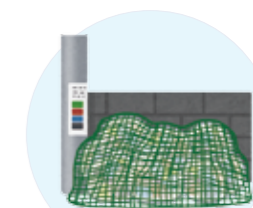
子どもが学校へ行く時、見守り活動をしている人を見かけませんか？
実は、自治会や地域の方が協力して、子どもが安全に通学できるよう見守ってくれています。毎日挨拶をすると地域の絆も深まりますよね。



子どもの見守り

ごみステーションの場所を管理しているのは **じつ 実は！**

ごみステーションの場所は市やごみの収集業者が決められていると思っている人も多いのでは？実は、隣近所の方が実情に合わせて場所を決めています。カラス除けネットやゴミ出し後の清掃など、地域の皆さんが協力しながらステーションは管理されています。



ごみステーションの管理

地域活動の第一歩始めてみませんか

自治会は、地域に暮らす人たちが日常生活に密着したさまざまな取り組みを通して、住みよいまちづくりを進める住民組織です。防犯パトロールや防災訓練、お祭りや運動会などのイベント、美化活動などを行っています。いざという時にお互いに助け合い協力し合えるようにするには、日頃からのつながり作りは欠かせません。地域の絆を強めるためにも自治会に参加しましょう。

自治会へ参加されたい方は、近所の役員さんにお問い合わせください。役員さんがわからない場合は、藤井寺市役所協働人権課までお問い合わせください。